

# クロアチア政治・経済の概況



Dubrovnik\_foto\_Romeo\_Ibrišević /Ministarstvo turizma i sporta/  
【ドブロブニク旧市街】

2026年4月  
在クロアチア日本国大使館

# 目次

- 1 基本情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2
- 2 政治体制・内政・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3
- 3 外交・国防・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6
- 4 経済概況・・・・・・・・・・・・・・・・ P 7
- 5 日・クロアチア経済関係の概況・・・・・・・・ P 18
- 6 クロアチアの投資環境・・・・・・・・ P 21

# 1 基本情報



## 【基本情報】

人口：約386.6万人(2024年) (クロアチア統計局推計)

実質GDP：826億ドル(2023年) (世界銀行)

面積：56,594km<sup>2</sup> (日本の面積の約15%、九州の約1.5倍)

首都：ザグレブ市(人口約77.4万人、2024年) (クロアチア統計局推計)

宗教：カトリック、セルビア正教等

通貨：ユーロ (2023年1月より導入)

公用語：クロアチア語

在クロアチア邦人数：約200人

姉妹都市：川崎市とリエカ市(1977年～)

京都市とザグレブ市(1981年～)

碧南市とプーラ市(2007年～)

## 【国の特徴】

### ①旧ユーゴスラビア紛争からの復興

- ・1991年に旧ユーゴスラビアから独立。独立を巡り、1991年から1995年、武力紛争が生じた。その後は戦後復興と民族和解を推進。

### ②観光大国

- ・アドリア海に面する風光明媚な海岸線と多くの島々を抱える欧州有数の観光大国。

### ③EU加盟国

- ・2013年7月にEU加盟。現在は西バルカン諸国のEU加盟を後押し。
- ・2020年前半にEU議長国(半年間の任期)を務めた。
- ・2023年1月に通貨ユーロを導入、シェンゲン協定に加盟。

# 2 政治体制・内政－ (1) 政治体制

【政体】 大統領を国家元首とする共和制。

### 【国家元首→政府】

- ・議会の過半数の支持がある者（首相候補）に組閣を指示。
- ・議会の内閣に対する信任に従い、首相を指名。

**国家元首**

【任期】5年  
(二期まで)

2020年2月に就任し、2025年2月から2期目。



(写真：クロアチア大統領府)

**ゾラン・ミラノビッチ大統領**

### 【国家元首→議会】

- ・政府に対する不信任決議が採択された場合等には、政府からの提案に基づき、議会を解散。

### 【議会→国家元首】

- ・大統領の憲法違反が認められた場合のみ、全議員の3分の2以上の賛成により、大統領の罷免が可能。

**有権者**

18歳以上の国民

**政府**

【大臣】18人

クロアチア民主同盟 (HDZ) を主軸とする連立政権。

プレンコビッチ首相は2016年に就任し、2024年5月から3期目。



(写真：クロアチア首相府)

**アンドレイ・プレンコビッチ首相**

**議会**

【構成】一院制  
【定数】151人  
【任期】4年  
【役員】議長1人、副議長3~5人



(写真：クロアチア議会)

**ゴルダン・ヤンドロコビッチ議長**

### 【議会→政府】

- ・首相及びその閣僚の信任。
- ・内閣不信任決議案の提出・採択。

## 2 政治体制・内政－（2）内政の動き

### 独立～2015年頃

(1) 1991年から95年にかけて、旧ユーゴスラビアからの独立を巡り武力紛争が展開された。一部地域に紛争時に埋設された地雷が残存していたが、2026年2月、クロアチア政府はクロアチア全土における地雷除去の完了を発表した。紛争後、国内の民族構成が大きく変化した（国勢調査によると、1991年から2001年の間に、クロアチア系住民の割合は78%から90%に、セルビア系住民の割合は12%から4.5%になった。）。

(2) 1990年代を通じ政権与党であったクロアチア民主同盟（HDZ：中道右派）と旧クロアチア共産主義者同盟の社会民主党（SDP：中道左派）が二大政党とされ、独立以来、4度の政権交代が行われた。

### 現政権：第一党クロアチア民主同盟を中心とした連立与党、大統領は野党出身

(1) 2016年、前政権への不信任決議可決により実施された9月の議会選挙の結果、HDZとMOSTの間で連立が合意され、プレンコビッチHDZ党首を首相とする政権が発足した。2017年4月、クロアチア最大の民間企業集団であるアグロコル・グループの経営悪化を巡り連立与党間で対立が生じ、プレンコビッチ首相はMOST所属閣僚3名を更迭し、MOSTが連立政権を離脱した。その後与党HDZは、人民党（HNS）と新たに連立合意を結び、同年6月、内閣改造を実施した。

(2) 2024年4月の議会選挙の結果、HDZと祖国運動（DP）の間で連立が合意され、第3次プレンコビッチ内閣が発足。DPから閣僚3名が入閣した。省庁再編により人口動態・移民省及び環境保護・グリーン移行省が新たに設置された。

### 2025年の主な出来事

(1) 2024年12月29日に実施された大統領選挙第1回投票の結果、現職のゾラン・ミラビッチ氏及びドラガン・プリモラツ氏の上位2名が第2回投票に進んだ。2025年1月12日に行われた第2回投票で、ゾラン・ミラビッチ氏が勝利し、2期目の当選を果たした。

(2) 5月18日にクロアチア全国20県、127市、428町村において統一地方選挙の第1回投票が実施され、6月1日に第1回投票でいずれの候補者も全投票数の過半数を超えなかった12県46市62町村において、第2回投票が実施された。与党第一党HDZが支持する知事候補者が20県中15県で当選し、4大都市のうち2市長が当選するなど、HDZの全国規模での支持基盤の強さを示す結果となった。野党第一党SDPが支持する知事候補者は3県で当選し、4大都市の市長選では当選はなかった。

(3) 10月28日にクロアチア議会が義務的基礎軍事訓練の実施（2008年以来の兵役義務の再開）に関連する国防法改正法案を可決し、2026年1月から、原則19歳になる男性国民を対象とした2ヶ月間の基礎軍事訓練を導入した。

(4) 食品価格等の高騰への反発から、1月末から3月初頭にかけて、消費者団体が主導するフェイスブック・グループの呼びかけによりスーパーマーケット・チェーンや小売店に対する全国的なボイコット運動が行われた。

(5) 日本との関係では、グルリッチ＝ラドマン外務・欧州相が2度訪日し、7月には藤井比早之外務副大臣（当時）、10月には茂木敏充外相との間で会談が行われた。また、9月には大阪・関西万博のクロアチア・ナショナルデー出席のため、プレンコビッチ首相がシュニャル経済相やグラビナ・スポーツ・観光相らとともに訪日し、石破茂総理（当時）と首脳会談を行った。

## 2 政治体制・内政－ (3) 議会政党、議席配分

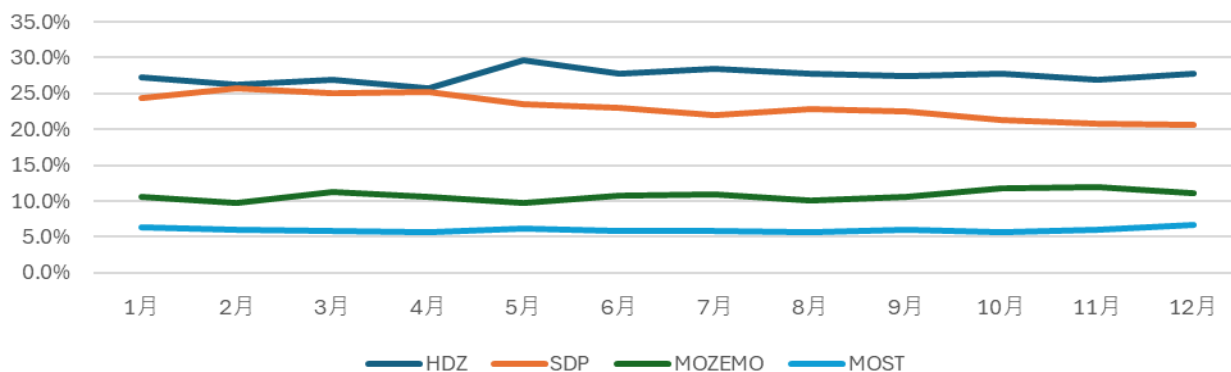
【クロアチア議会における議席配分（計151議席）】（2026年4月時点）

【与党連立・協力議員】（計79議席）	議席
HDZ (Croatian Democratic Union) 1989年結成（トジマン初代大統領を輩出）。2011年選挙で下野した後、2016年1月から政権与党。	54
DP (Homeland Movement)	7
HSLs (Croatian Social Liberal Party)	2
HDS (Croatian Demochristian Party)	1
HSS (Croatian Peasant Party)	1
HNS (Croatian People's Party)	1
HSU (Croatian Party of Pensioners)	1
Nezavisni (The Independents)	1
Dario Zurovec Nezavisni List (Independent List)	1
少数民族枠議員（SDSSを除く）	5
その他無所属	5

【野党】（計72議席）	議席
SDP (Social Democratic Party of Croatia) 1990年結成。旧クロアチア共産主義者同盟。過去2度（2000年及び2011年選挙）政権与党となった。	36
MOZEMO!(We Can!) 2019年にザグレブ市議会議員を中心に結成。	10
MOST (Bridge) 無所属議員による改革志向の政治グループとして2012年に結成。	7
SDSS (Independent Democratic Serbian Party)	3
DOMiNO (Home and National Rally) 2024年DPの党内対立の結果、同党を離れた議員等を中心に結成。	3
その他小規模政党所属議員	9
無所属	4

2025年政党支持率（上位4政党）

Ipsos plus社Crobarometar



# 3 外交・国防

## 外交・国防の基本方針

(1) 2009年4月、NATOに加盟。2013年7月にEU加盟。2020年1月から半年間、EU議長国を務めた。2023年1月からユーロ導入及びシェンゲン圏に加盟。また、OECD加盟を目標としており、2022年6月にOECD理事会はクロアチア等の加盟に向けたロードマップを採択した。

(2) 1990年代の紛争にもかかわらず、近隣諸国との関係は概ね良好。V4（ポーランド、チェコ、スロバキア、ハンガリー）との協力や3海域（バルト海、アドリア海、黒海）イニシアティブを通じた取り組みなど、エネルギー安全保障や域内協力等との観点からも中・東欧諸国や地中海諸国との連携を強化。

(3) EU、NATO、国連、中欧・地中海における活動、経済外交や開発協力・人道支援活動の強化、法の支配、人権保護及び持続可能な開発の促進、南東欧地域及び世界の平和・安定への貢献を重視。こうした方針に基づき、コソボ国際安全保障部隊（KFOR）の他、国連やNATOの平和維持ミッションに要員を派遣している。西バルカン諸国へのEU拡大による同地域安定化の促進を強く支持。ボスニア・ヘルツェゴビナ等に多く居住する在外クロアチア人の地位・権利保護も重要課題としている。

(4) 2022年2月ロシアによるウクライナ侵略後、直ちにウクライナの主権と領土的一体性への支持を表明し、ロシア非難の関連国連総会決議に賛成、国際刑事裁判所（ICC）付託にも参加している。ウクライナに対し、人道支援物資や歩兵用装備品、ヘリコプター等を供与。2022年10月には、初のクリミア・プラットフォーム議会サミットをザグレブで開催し、日本からは細田衆議院議長（当時）がビデオメッセージを送付した。また、2023年10月には、ウクライナにおける人道的地雷除去支援ドナー会合をザグレブで開催し、日本からは辻外務副大臣が出席した。2025年10月には、クロアチア退役軍人省とウクライナ退役軍人省の共催により、スプリットで退役軍人国際会議が開催された。また、同月にグルリッチ＝ラドマン外務・欧州相が東京で開催されたウクライナ地雷対策会議（UMAC2025）に出席した。

## 軍事力

(1) 国防予算：15億400万ユーロ（クロアチア財務省発表2025年度予算）

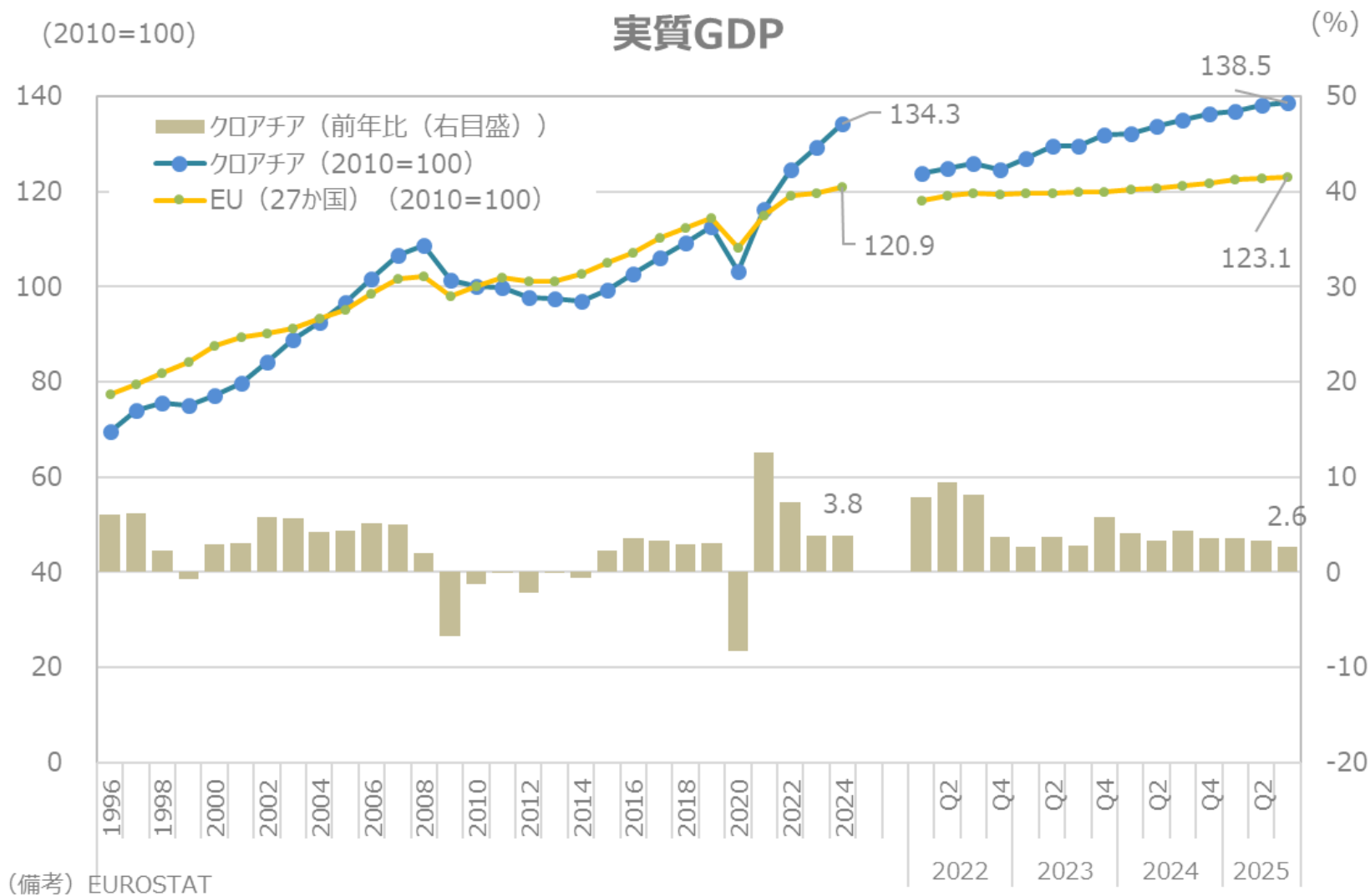
(2) 兵力：現役軍人約14000人、予備役約18000人（2024年クロアチア国防省年次報告書）

(3) 軍備強化：

欧州の安全保障情勢の変化を受け軍備強化に注力し、2025年に中古の仏ラファール戦闘機及びトルコ製無人戦闘機バイラクトルTB2の納入を完了したほか、ブラッドレー歩兵戦闘車の導入（2022年に調達契約、2023年に一部納入、配備は2026年見込み）、短距離防空ミサイルシステムの導入（2022年に仏のMBDA社と調達契約、納期は2023年から2025年）、ブラック・ホーク型ヘリコプターの追加調達（4機保有済み、2024年に追加8機調達契約）、カエサル自走榴弾砲（2024年6月にエストニア、ブルガリア、ポルトガル、スロベニアとの共同購入に関する枠組みに合意）、高軌道ロケット砲システム（HIMARS）（2024年8月に8基の購入について米国と合意）、レオパルト2A8戦車（2024年10月に最大50両の購入について独と合意）の調達を進めている。さらに、新型コルベットや対ドローン防衛システムの調達を計画している。

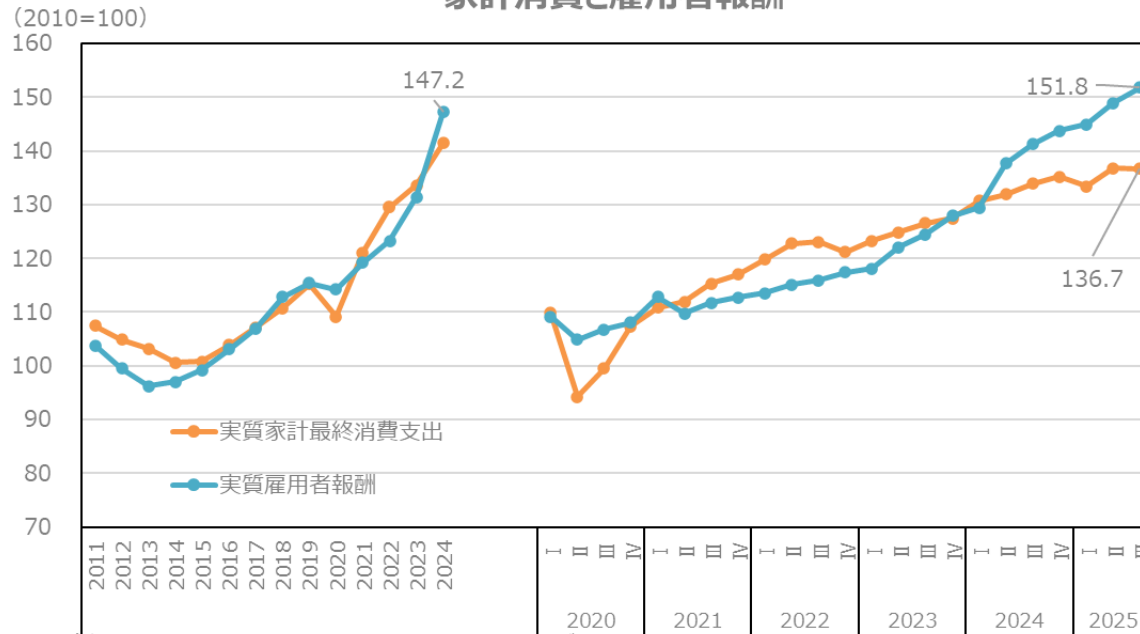
# 3 経済概況 ～ 実質GDP ～

- ・2024年実質GDPは、3.8%増。4年連続で前年を上回る。
- ・欧州委員会の経済見通し（2025年11月）によれば、2025年は3.2%増、2026年は2.9%増、2027年は2.5%増と予測。



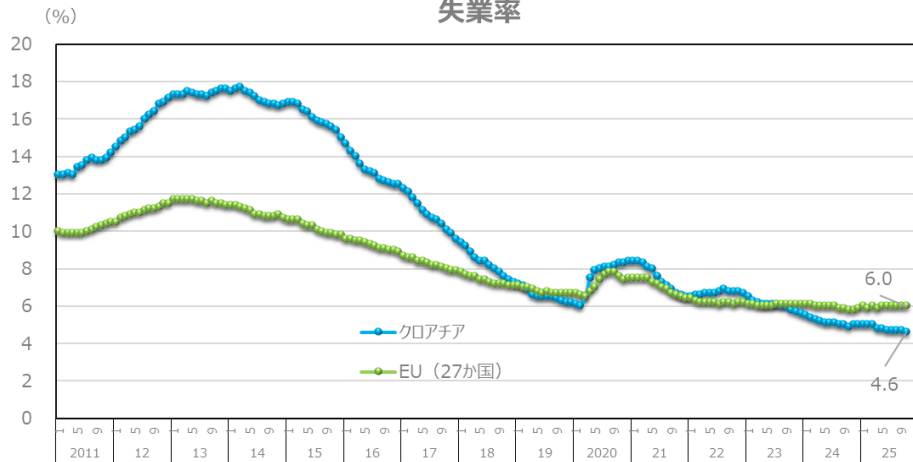
# 3 経済概況 ～ 消費、失業率、消費者物価 ～

### 家計消費と雇用者報酬



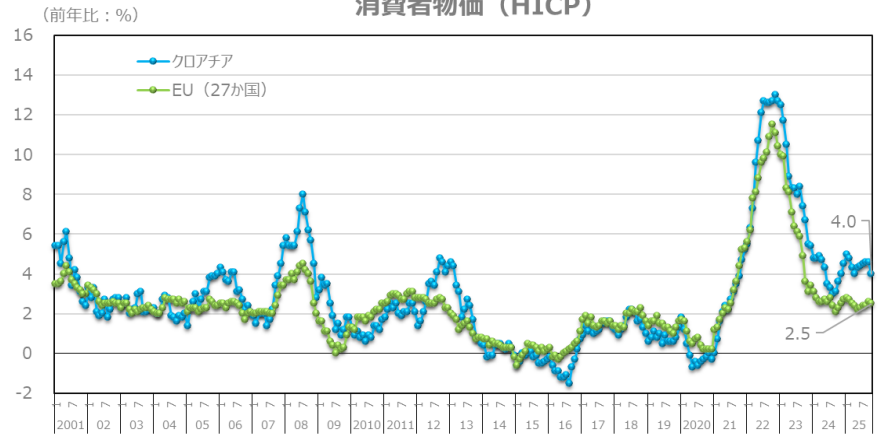
(備考) EUROSTAT。雇用者報酬は家計最終消費支出デフレーターにより実質化。

### 失業率



(備考) EUROSTAT。ILO基準。季節調整値。

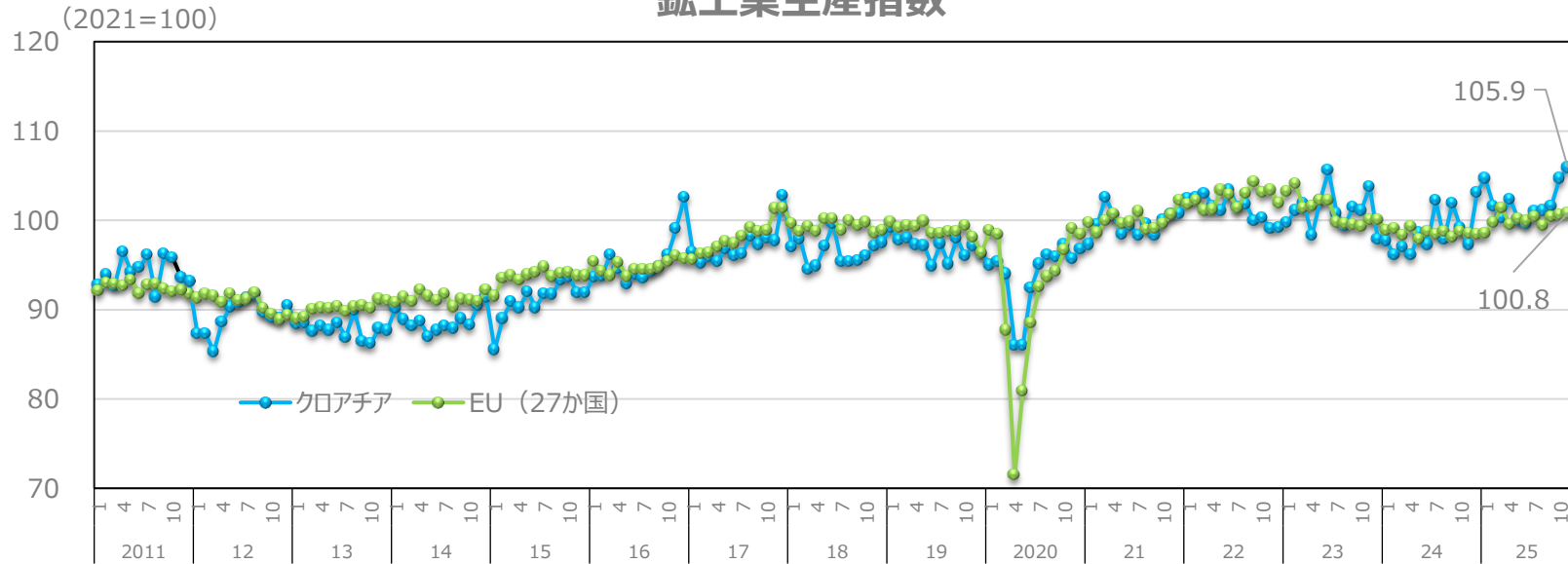
### 消費者物価 (HICP)



(備考) EUROSTAT

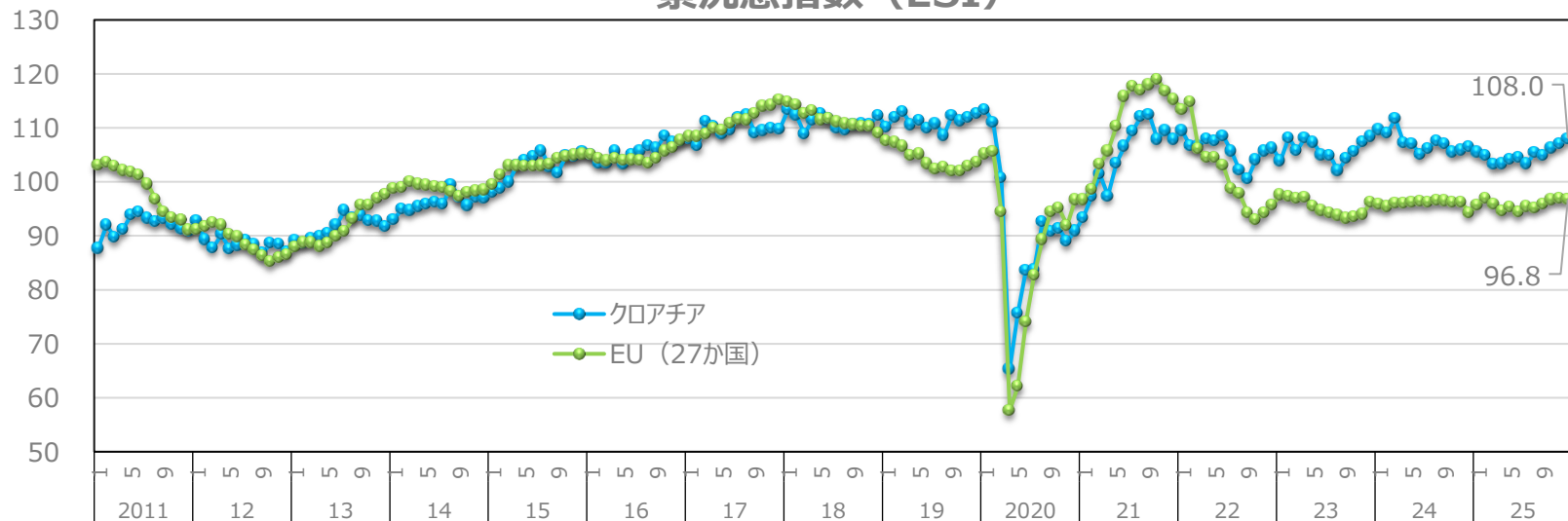
# 3 経済概況 ～ 鋳工業生産、景況感 ～

## 鋳工業生産指数



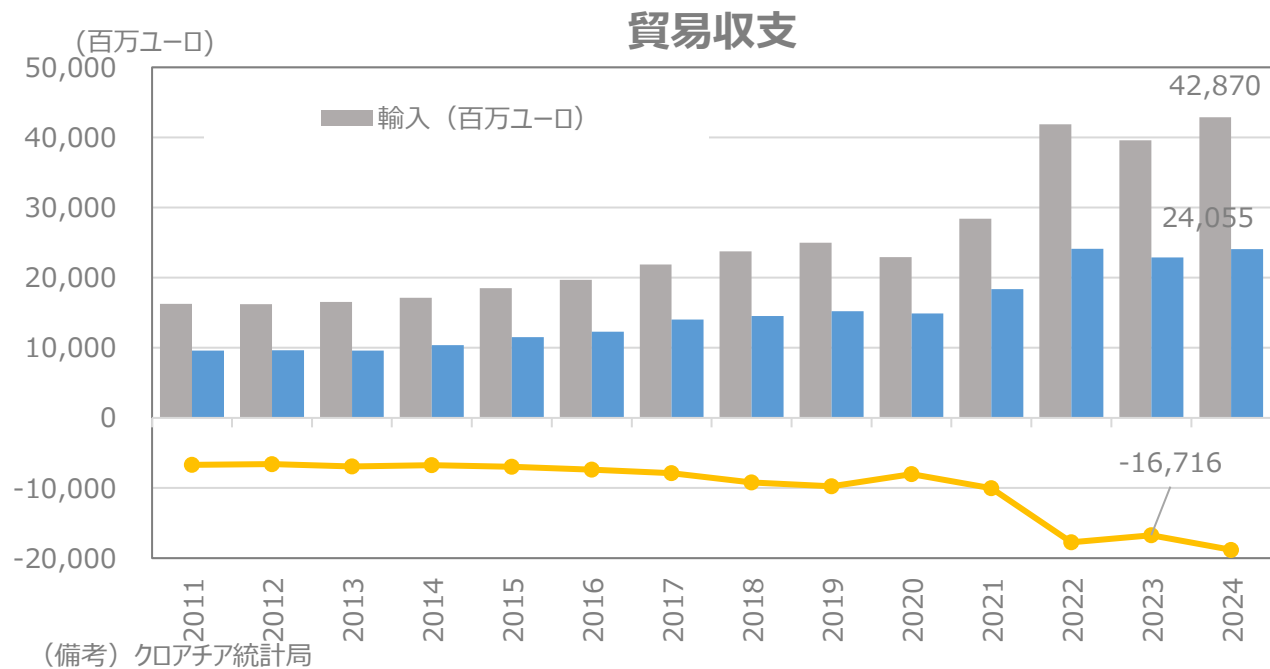
(備考) EUROSTAT。季節調整値。

## 景況感指数 (ESI)



(備考) EUROSTAT。季節調整値。

# 3 経済概況 ～ 貿易収支 ～

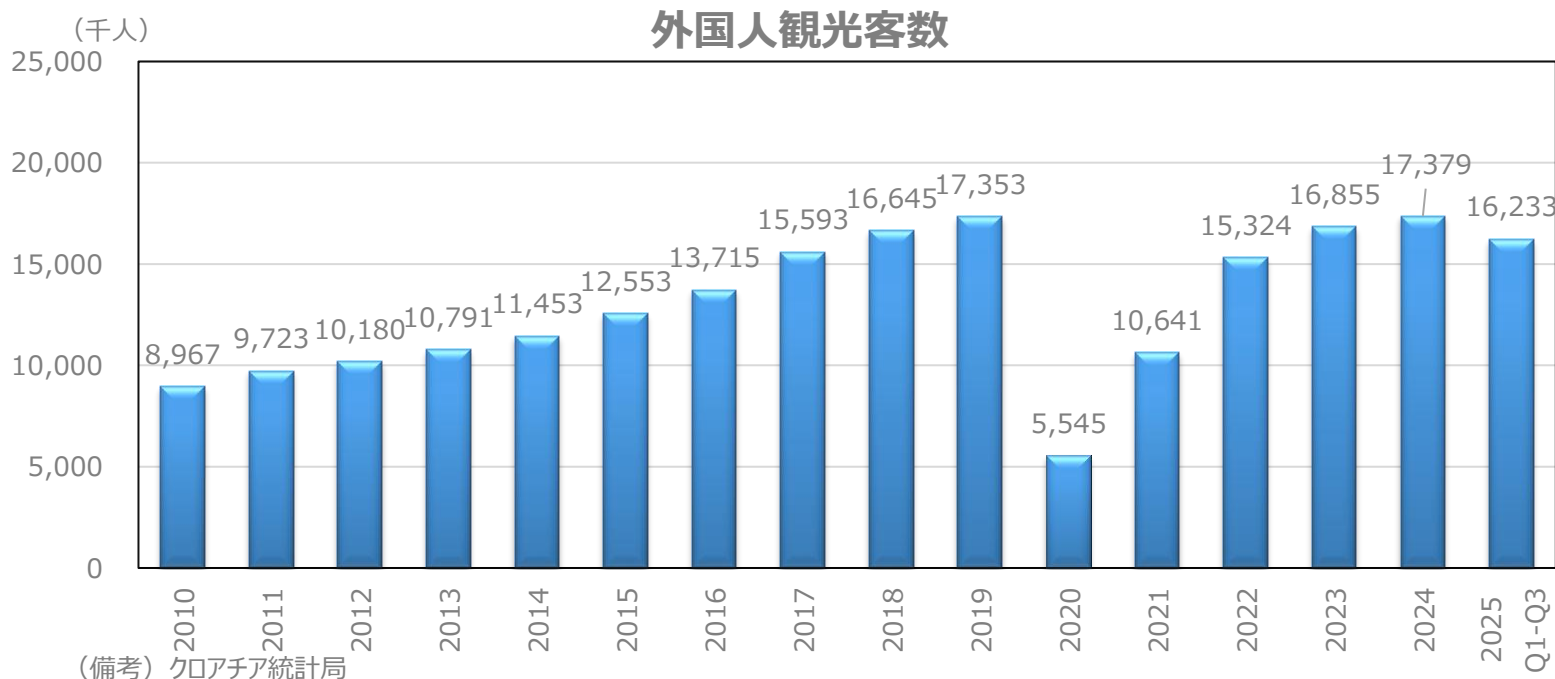


## 主要貿易相手国 (上位10か国、2024年)

		(千ユーロ)				
		貿易総額 (輸出額+輸入額)	クロアチア全体に占める シェア (%)	輸出額	輸入額	輸出-輸入
1	ドイツ	9,037,588	13.5	2,868,125	6,169,463	▲ 3,301,338
2	イタリア	8,415,499	12.6	2,742,234	5,673,265	▲ 2,931,031
3	スロベニア	7,695,061	11.5	2,631,259	5,063,803	▲ 2,432,544
4	ハンガリー	4,287,851	6.4	1,486,114	2,801,737	▲ 1,315,622
5	ボスニア・ヘルツェゴビナ	3,886,477	5.8	2,694,928	1,191,550	1,503,378
6	オーストリア	3,479,406	5.2	1,217,665	2,261,741	▲ 1,044,075
7	セルビア	2,354,530	3.5	1,298,142	1,056,389	241,753
8	ポーランド	2,303,497	3.4	563,828	1,739,669	▲ 1,175,841
9	フランス	2,266,021	3.4	568,924	1,697,097	▲ 1,128,172
10	オランダ	2,176,390	3.3	404,518	1,771,872	▲ 1,367,354

(備考) クロアチア統計局

# 3 経済概況 ～ 観光 ～



## 外国人観光客数と延べ宿泊者数（上位10か国、2024年）

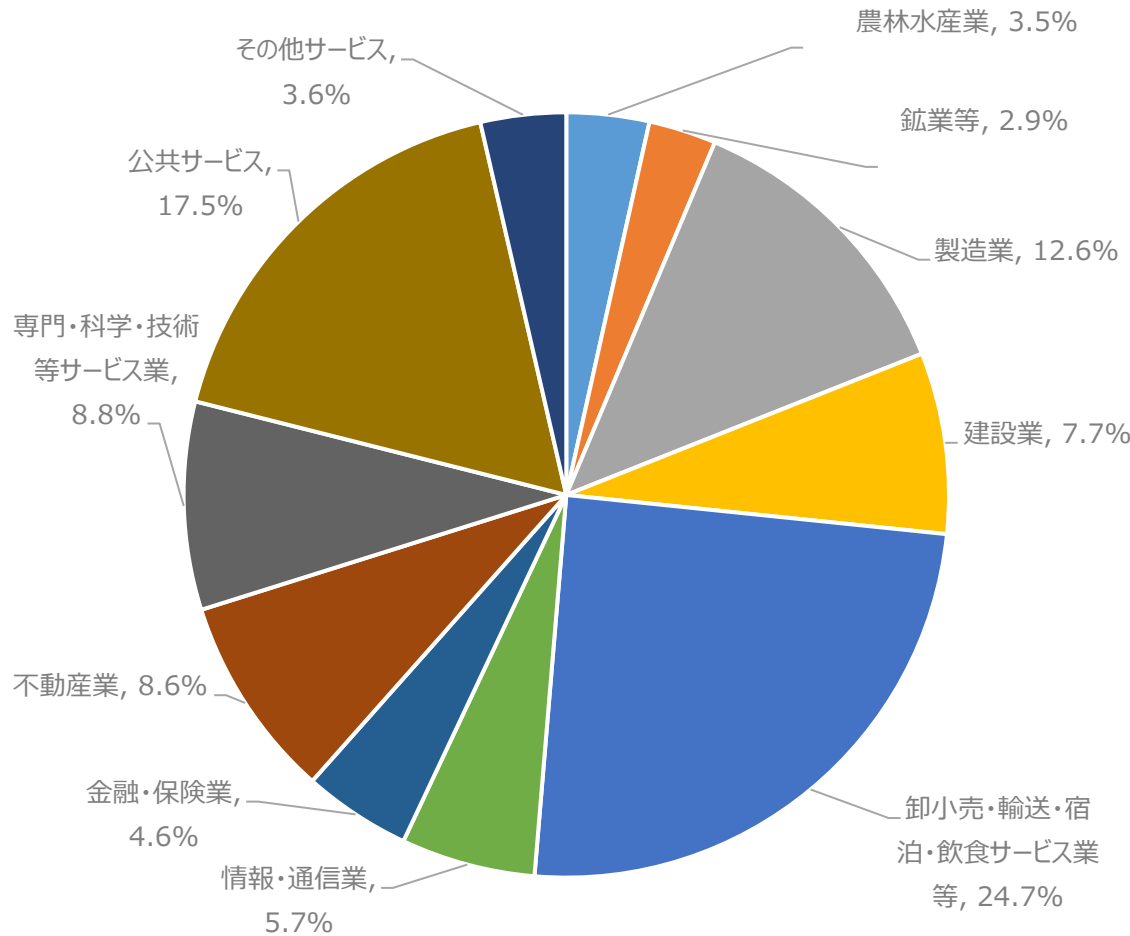
順位	国	外国人観光客数	クロアチア全体に占めるシェア (%)
1	ドイツ	3,071,567	17.7
2	スロベニア	1,570,749	9.0
3	オーストリア	1,509,652	8.7
4	ポーランド	1,127,508	6.5
5	イタリア	911,059	5.2
6	イギリス	799,341	4.6
7	ハンガリー	758,621	4.4
8	アメリカ合衆国	737,107	4.2
9	チェコ	729,356	4.2
10	フランス	595,210	3.4

順位	国	外国人観光客延べ宿泊者数	クロアチア全体に占めるシェア (%)
1	ドイツ	21,101,453	24.8
2	スロベニア	7,934,845	9.3
3	オーストリア	7,520,947	8.9
4	ポーランド	6,787,380	8.0
5	チェコ	4,632,254	5.5
6	イギリス	3,764,978	4.4
7	イタリア	3,682,278	4.3
8	ハンガリー	3,608,041	4.2
9	スロバキア	3,074,695	3.6
10	オランダ	2,921,014	3.4

(備考) クロアチア統計局。延べ宿泊者数は、各観光客の宿泊日数を合計した値。

# 3 経済概況 ～ 産業別GDP ～

## 産業別GDP（2024年）



(備考) クロアチア統計局。名目値。



Zagreb\_foto\_Romeo\_Ibrišević /Ministarstvo turizma i sporta/  
【クロアチア国立劇場（ザグレブ市）】

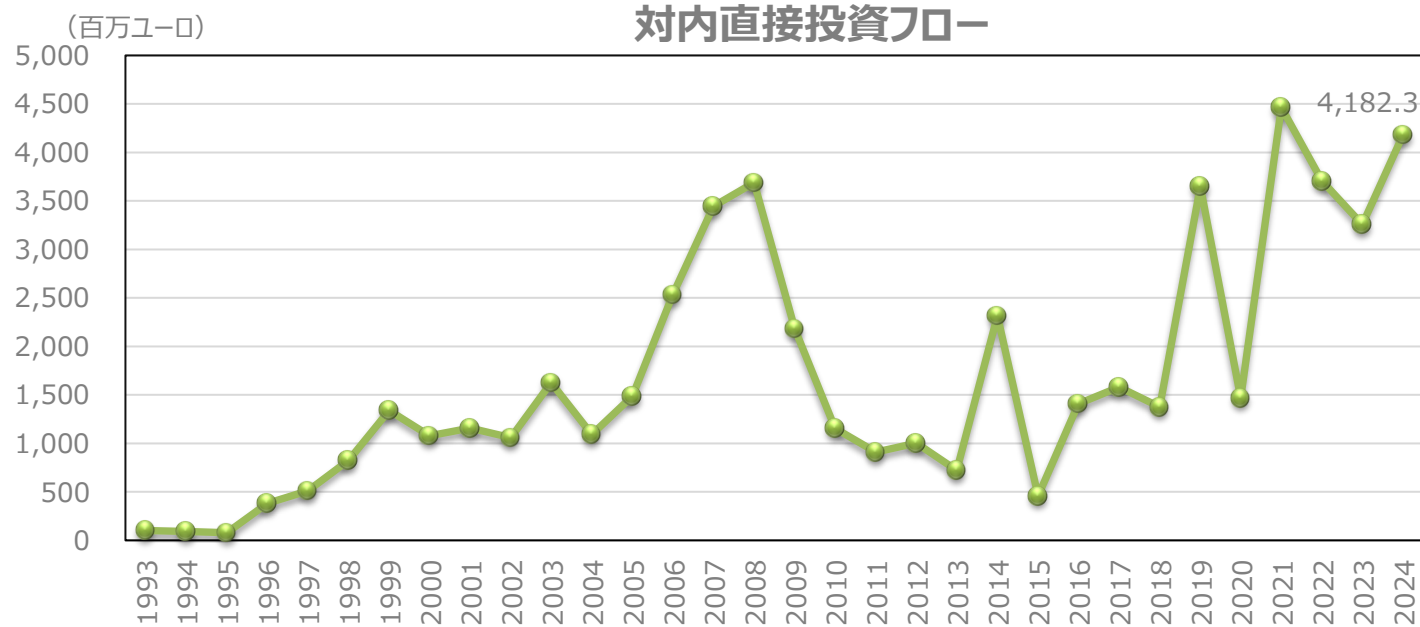


Rijeka\_foto\_Nikola Šolić /Ministarstvo turizma i sporta/  
【トルサット要塞（リエカ市）】



Sveta Nedelja\_foto\_Romeo\_Ibrišević /Ministarstvo turizma i sporta/  
【スヴェタネデリャ市の風景】

# 3 経済概況 ～ 対内直接投資 ～



(備考) クロアチア国立銀行。速報値。

## 対内直接投資フロー

(1993年～2025年第三四半期までの累計。国別上位10カ国。)

順位	国	投資額 (百万ユーロ)	クロアチア全体に 占めるシェア(%)
1	オランダ	12,216	21.3
2	オーストリア	6,975	12.1
3	ルクセンブルク	6,659	11.6
4	ドイツ	5,562	9.7
5	イタリア	3,712	6.5
6	ハンガリー	3,541	6.2
7	スロベニア	2,874	5.0
8	イギリス	1,755	3.1
9	マルタ	1,357	2.4
10	チェコ	1,208	2.1

(備考) クロアチア国立銀行

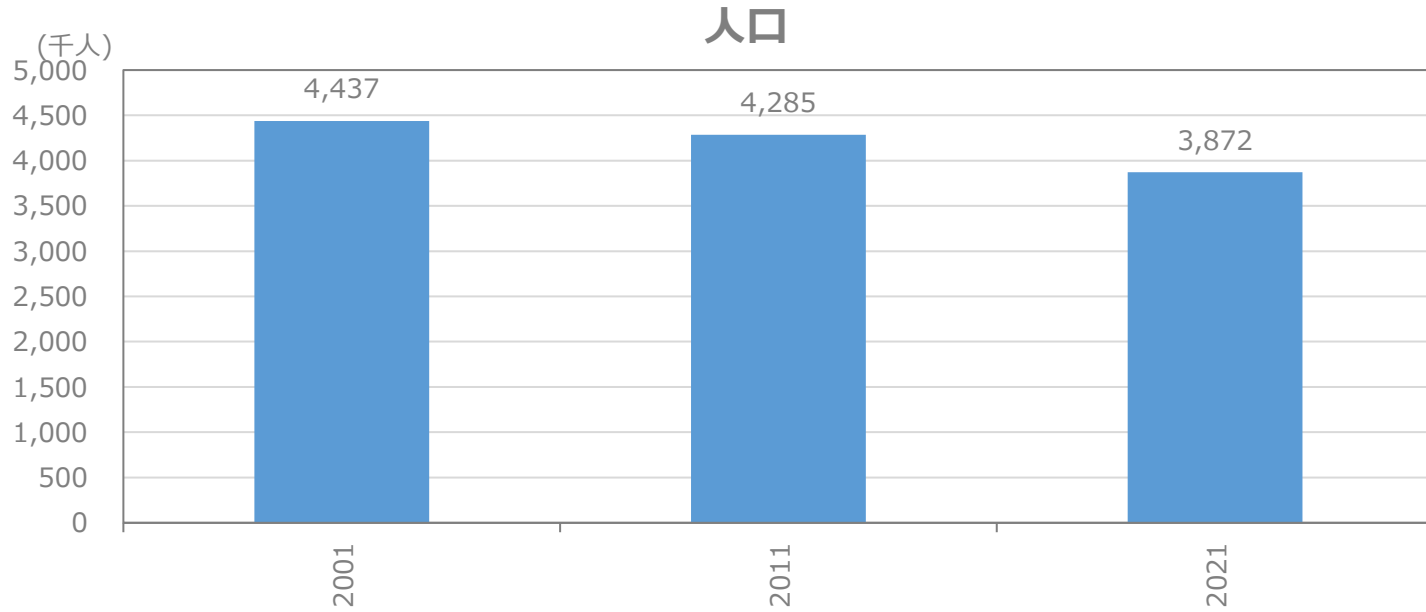
## 対内直接投資フロー

(1993年～2025年第三四半期の累計。産業別上位10業種)

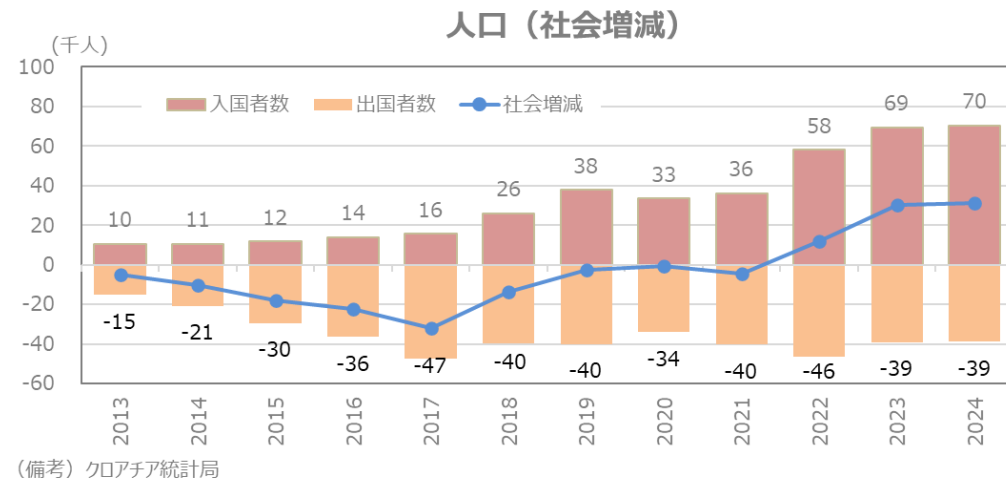
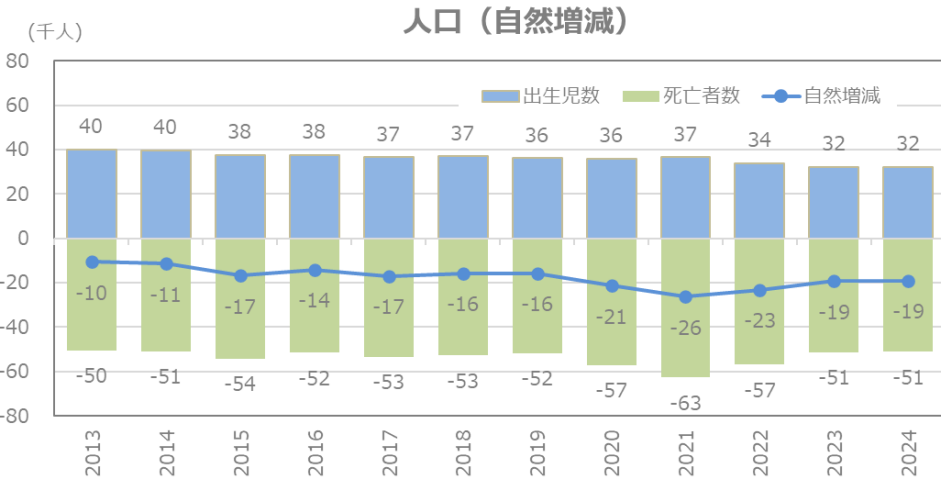
順位	業種	投資額 (百万ユーロ)	クロアチア全体に占める シェア(%)
1	医薬品の製造	2,631	22.8
2	金融サービス業 (保険、年金基金業を除く)	2,442	21.2
3	卸売業 (自動車及びオートバイを除く)	2,067	17.9
4	本社機能および経営コンサルティング業	1,015	8.8
5	食料品製造業	836	7.3
6	水運業 (海上・内陸水運)	460	4.0
7	非金属鉱物製品製造業 (その他)	222	1.9
8	不動産業	218	1.9
9	保険業・年金業	191	1.7
10	コンピュータプログラミング、コンサルティング関連	177	1.5

(備考) クロアチア国立銀行

# 3 経済概況 ～ 人口① ～



(備考) クロアチア統計局。2001年国勢調査、2011年国勢調査、2021年国勢調査の数値。

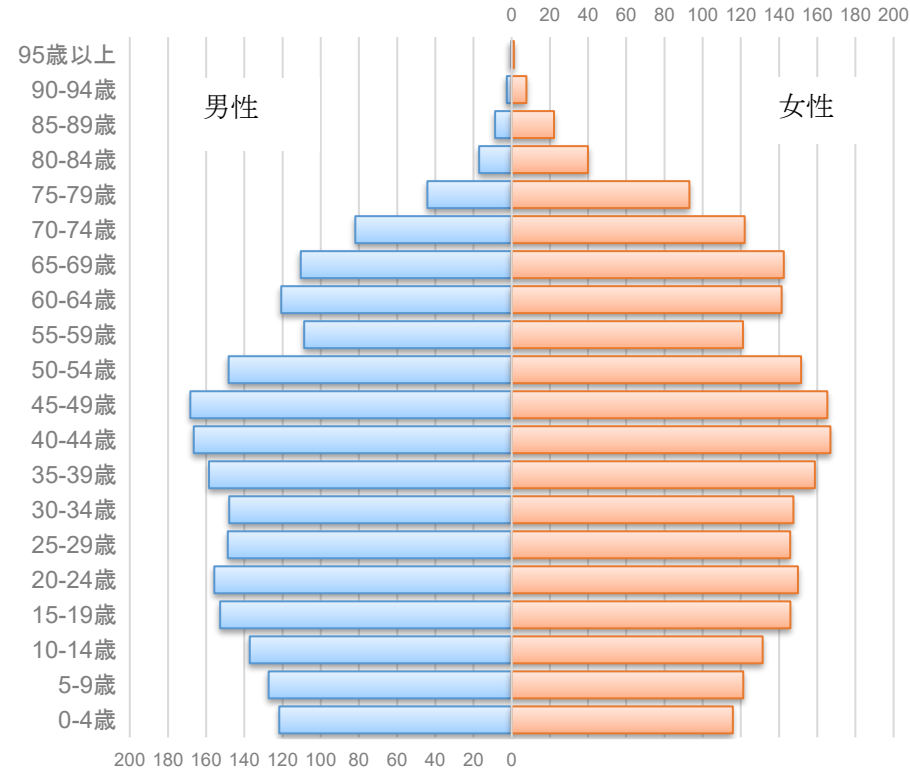


(備考) クロアチア統計局

# 3 経済概況 ～ 人口② ～

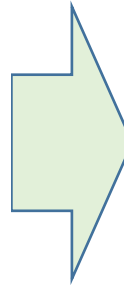
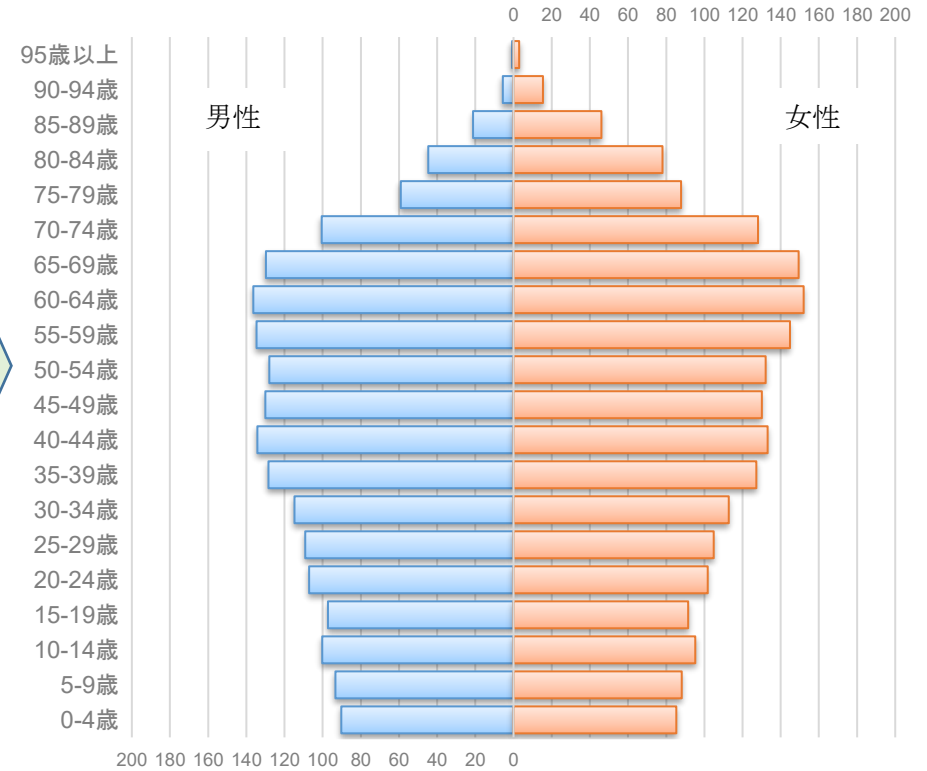
人口ピラミッド (2001年)

(単位:千人)



人口ピラミッド (2021年)

(単位:千人)



(備考)クロアチア統計局. 国勢調査

(備考)クロアチア統計局. 国勢調査

65歳以上人口の割合は、15.7% (2001年) から22.5% (2021年) に増加。

### 3 経済概況 ～ 人口③ ～

#### クロアチアへの移住者数・クロアチアからの移住者数（出国元／入国先別。2024年）

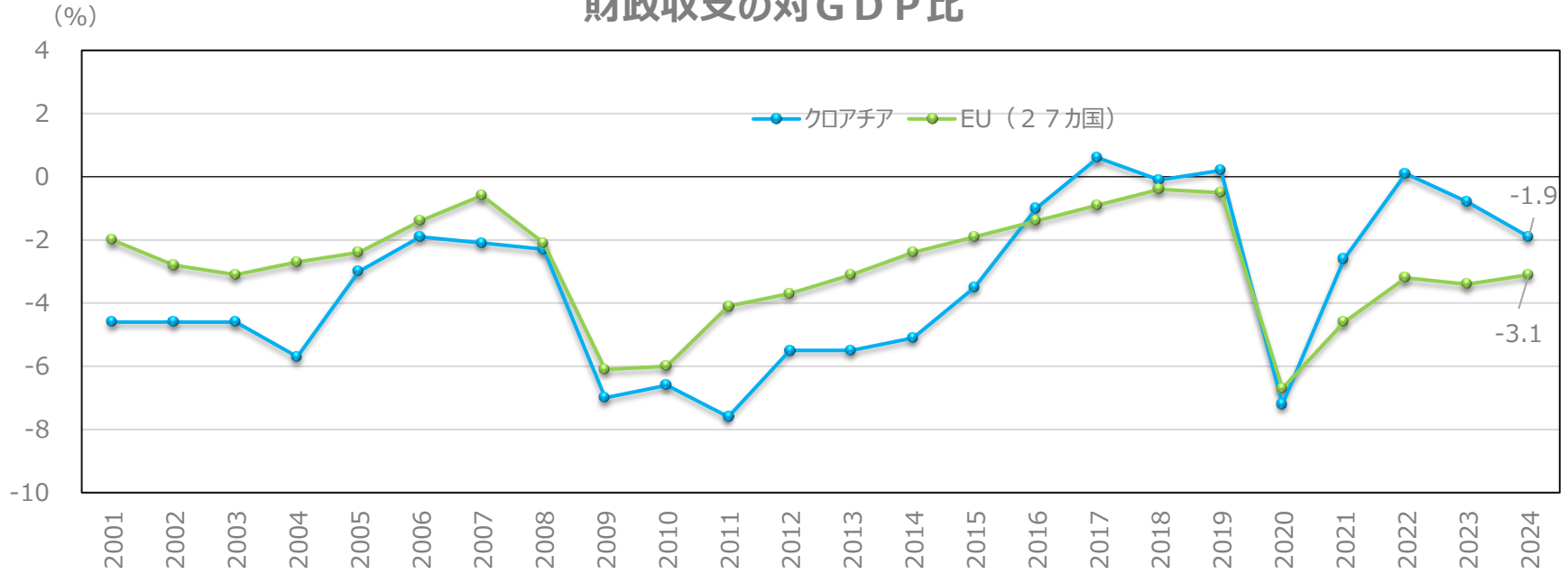
（単位：人）

主な出国元／入国先の 国・地域名	クロアチアへの移住者数			クロアチアからの移住者数		
	合計	クロアチア国民	外国人	合計	クロアチア国民	外国人
EU加盟国	13,722	9,184	4,536	14,366	14,017	349
オーストリア	1,429	1,116	313	3,181	3,165	16
アイルランド	496	458	38	425	421	4
イタリア	625	277	348	551	512	39
ドイツ	7,563	6,336	1,227	8,233	8,167	66
スロベニア	1,140	162	977	450	378	72
EU加盟国以外の欧州	24,534	3,135	21,398	17,127	4,561	12,566
アルバニア	933	2	931	785	1	784
ボスニア・ヘルツェゴビナ	7,940	1,625	6,315	5,561	1,687	3,874
コソボ	1,799	18	1,781	1,610	16	1,594
北マケドニア	2,117	43	2,074	1,119	28	1,091
セルビア	5,525	457	5,068	4,026	983	3,043
スイス	741	611	130	1,304	1,296	8
ウクライナ	3,454	5	3,448	783	2	781
アジア	26,524	130	26,391	5,026	160	4,866
アフリカ	2,545	31	2,514	321	10	311
北米・中米	557	62	495	166	17	149
南米	557	62	495	132	9	123
オセアニア	291	206	85	190	150	40
不明	1,303	2	1,299	1,212	802	410
合計（上記国以外の国も含む）	70,391	13,290	57,093	38,997	20,147	18,850

（備考）クロアチア統計局。クロアチア市民権保有者（クロアチア国民）かどうか不明の者が、クロアチアへの入国者数合計で8名含まれている。

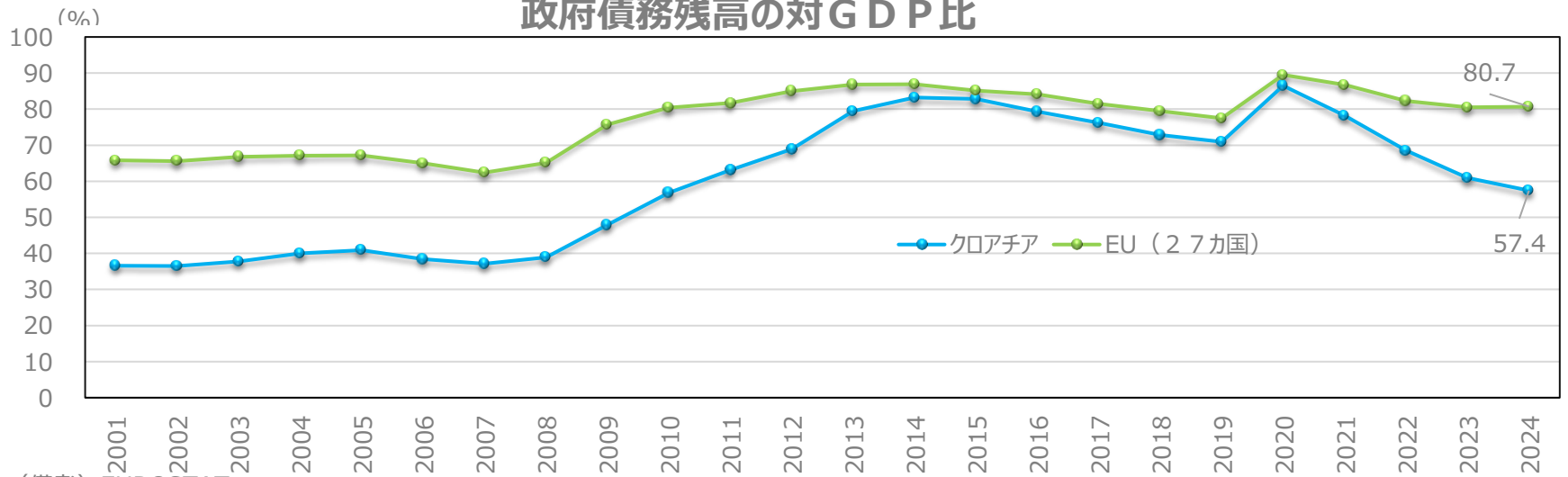
# 3 経済概況 ～ 財政 ～

## 財政収支の対GDP比



(備考) EUROSTAT

## 政府債務残高の対GDP比



(備考) EUROSTAT

## 4 日・クロアチア経済関係の概況 ～ 基本情報 ～

### 主なタイムライン

- 1993年 外交関係開設
  - 1998年 在クロアチア日本国大使館開設
  - 1999年～2012年 政府開発援助（ODA）対象国
  - 2013年 クロアチアのEU加盟
  - 2016年 在スプリット名誉総領事の任命
  - 2019年 2月 日・EU経済連携協定（EPA）の効力発生  
9月 日・クロアチア租税協定の効力発生  
12月 日・EU戦略的パートナーシップ（SPA）のクロアチア議会承認
  - 2023年 外交関係樹立30周年  
7月 日・クロアチア航空協定に署名
  - 2025年 3月 日・クロアチア航空協定の効力発効
- ※通商航海条約、文化協力協定、科学技術協力協定を旧ユーゴスラビアより継承。

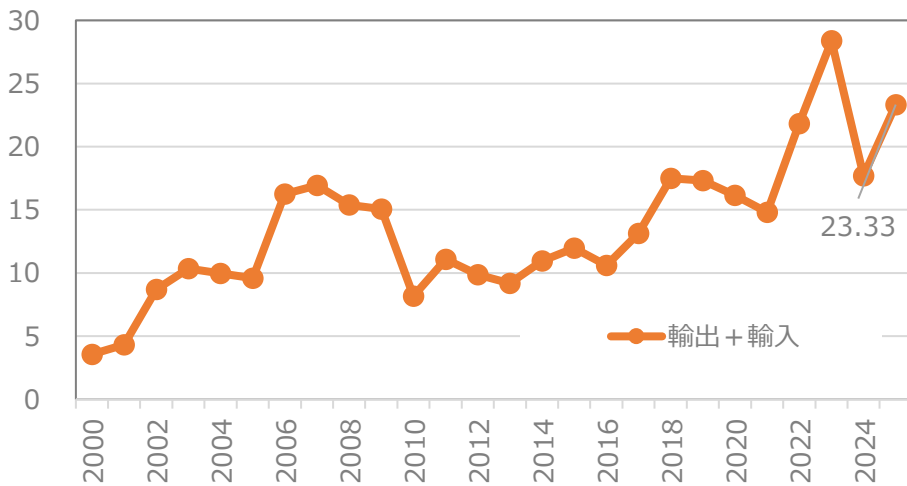
### 人口、GDPの比較

2024年	クロアチア	日本
人口	386.6万人	1億2,398万人
名目GDP	930億USドル	4兆276億USドル
一人あたり名目GDP	24,050USドル	32,487USドル

（備考）世界銀行「World Development Indicators」（Last Updated: 01/28/2026）

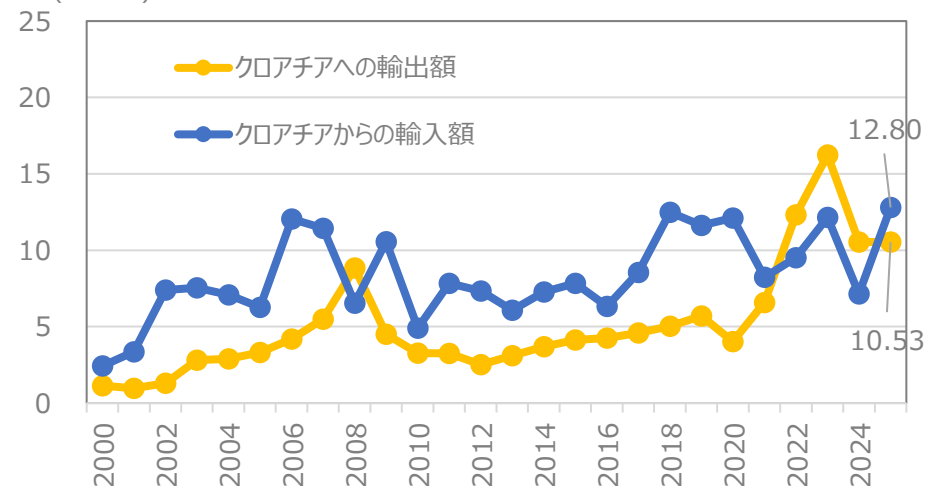
# 4 日・クロアチア経済関係の概況 ～ 2024年 ～

(10億円) 日・クロアチア間の貿易総額の推移



(備考) 財務省「貿易統計」

(10億円) 日・クロアチア間の輸出入額の推移



(備考) 財務省「貿易統計」

## クロアチアからの主な輸入品 (2024年)

内容	金額 (千円)	輸入総額に占める割合 (%)
1 魚介類及び同調製品 (主にマグロ)	7,211,824	56.3
2 機械類及び輸送用機器	2,523,046	19.7
3 化学製品	1,662,750	13.0
4 輸送用機器	1,476,398	11.5
5 医薬品	1,320,093	10.3

(備考) 財務省「貿易統計 国別概況品別表」より作成。

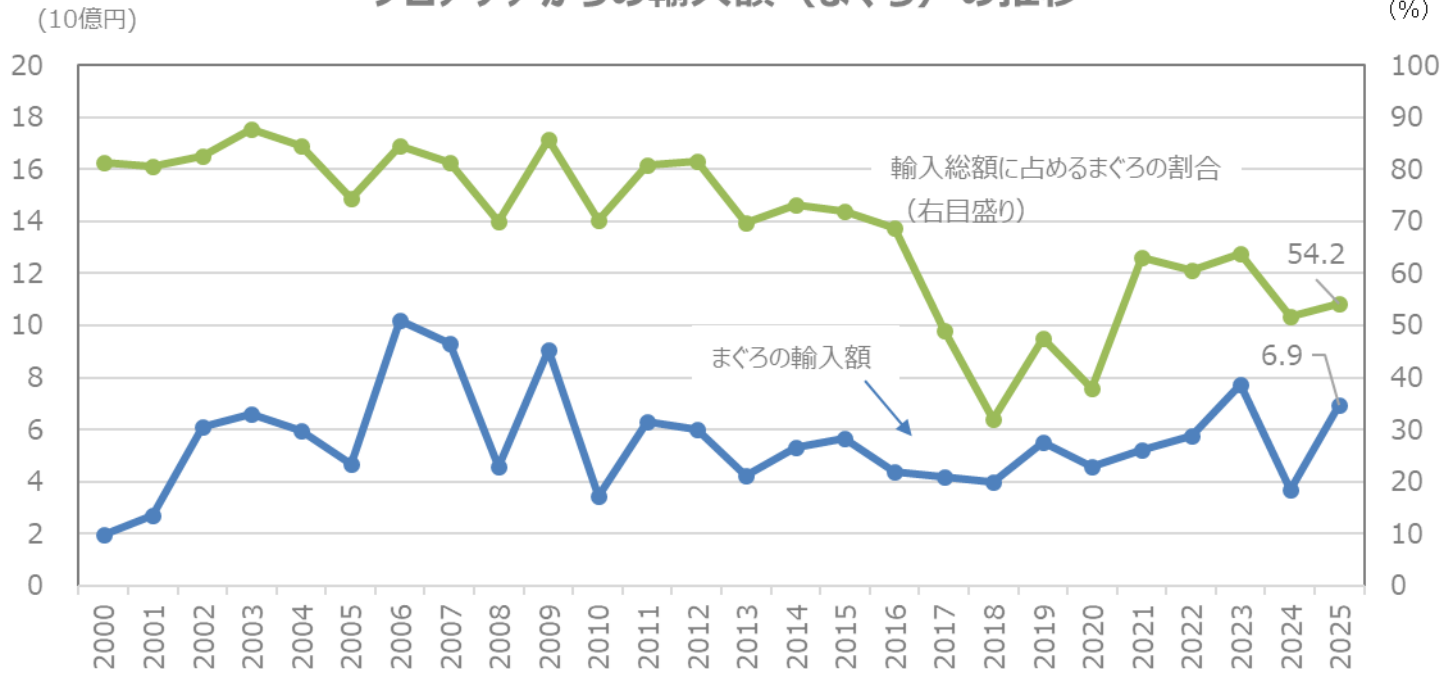
## クロアチアへの主な輸出品 (2024年)

内容	金額 (千円)	輸出総額に占める割合 (%)
1 機械類及び輸送用機器	4,831,555	45.9
2 原料別製品	3,787,924	36.0
3 鉄鋼	3,461,787	32.9
4 食料品及び動物	676,648	6.4
5 一般機械	546,928	5.2

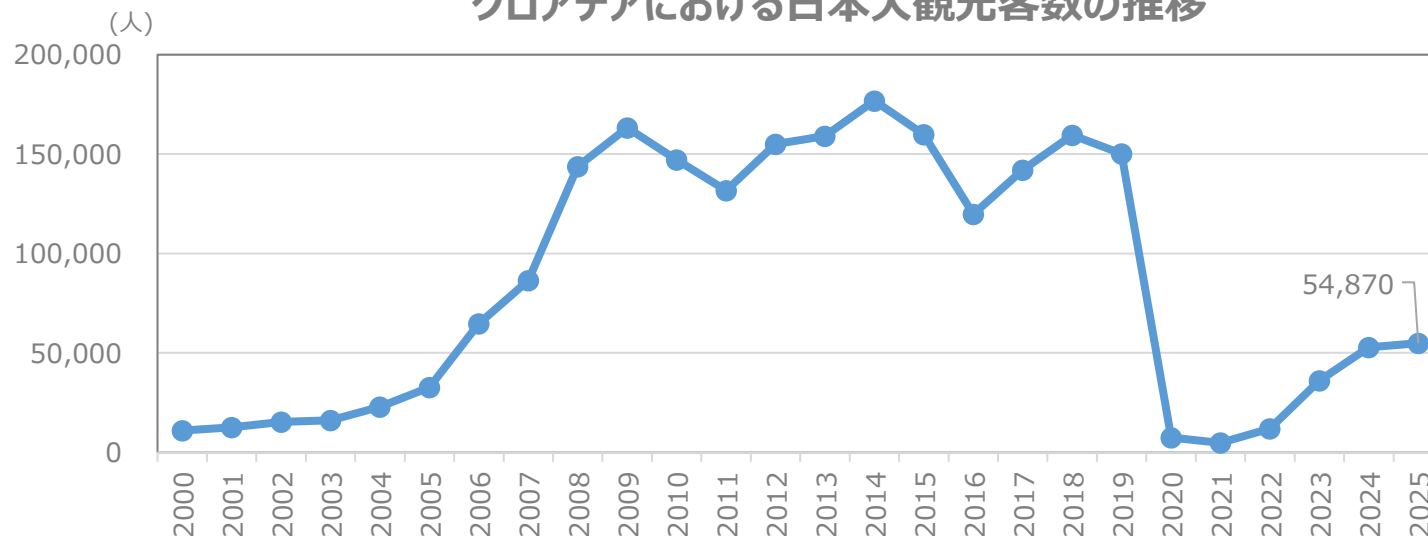
(備考) 財務省「貿易統計 国別概況品別表」より作成。

# 4 日・クロアチア経済関係の概況 ～ 貿易②、観光 ～

## クロアチアからの輸入額（まぐろ）の推移



## クロアチアにおける日本人観光客数の推移



(備考) クロアチア統計局

## 5 クロアチアの投資環境 ～ユーロ導入・シェンゲン圏・OECD・EU資金～

2023年1月に通貨ユーロを導入するとともに、シェンゲン協定に加盟した。

クロアチアとシェンゲン協定加盟国間の出入国審査は、陸路・海路については2023年1月1日に廃止され、空路については2023年3月26日に廃止。

### OECD加盟に向けた動き

2017年1月 クロアチアが加盟申請

2022年1月 OECD理事会は、クロアチアのOECD加盟に向けた協議開始を決定

2022年6月 OECD理事会は、クロアチアのOECD加盟に向けたロード・マップを採択

2023年9月 OECD Economic Surveys: Croatia 2023にて経済状況・経済政策の評価を受ける

2026年1月 OECD Economic Surveys: Croatia 2026にて経済状況・経済政策の評価を受ける

### EU資金の活用

● クロアチアは、EU加盟国として各種EU資金を活用し、インフラ整備、産業競争力強化、グリーン及びデジタル移行等の分野における投資を進めている。また、2020年の2度の大地震からの震災復興財源としてもEU資金を活用している。

● 2021～2027年の多年度財政枠組み（MFF）において、クロアチアは結束政策（Cohesion Policy）を通じて約250億ユーロ規模の資金の活用が見込まれており、交通・エネルギー等のインフラ整備、地域開発、中小企業支援、研究開発等に充当されている。

● また、復興・強靱化ファシリティ（RRF）を通じて約100億ユーロ（贈与及び融資）が利用可能とされており、グリーン移行、デジタル化、行政改革等の構造改革と投資が進められている。

● これらEU資金は、エネルギー（LNG関連インフラ等）、輸送（鉄道・港湾）、デジタル化、観光・環境分野等におけるプロジェクトに充当されており、クロアチアの投資環境の改善及び外国直接投資の誘致に重要な役割を果たしている。

# 5 クロアチアの投資環境 ～インフラ①～





## 高速道路

○全国的に高速道路網が整備されており、車でザグレブからリャブリャナまでは2時間程度、ブダペスト、ベオグラード、ウィーンまでは4～5時間程度。

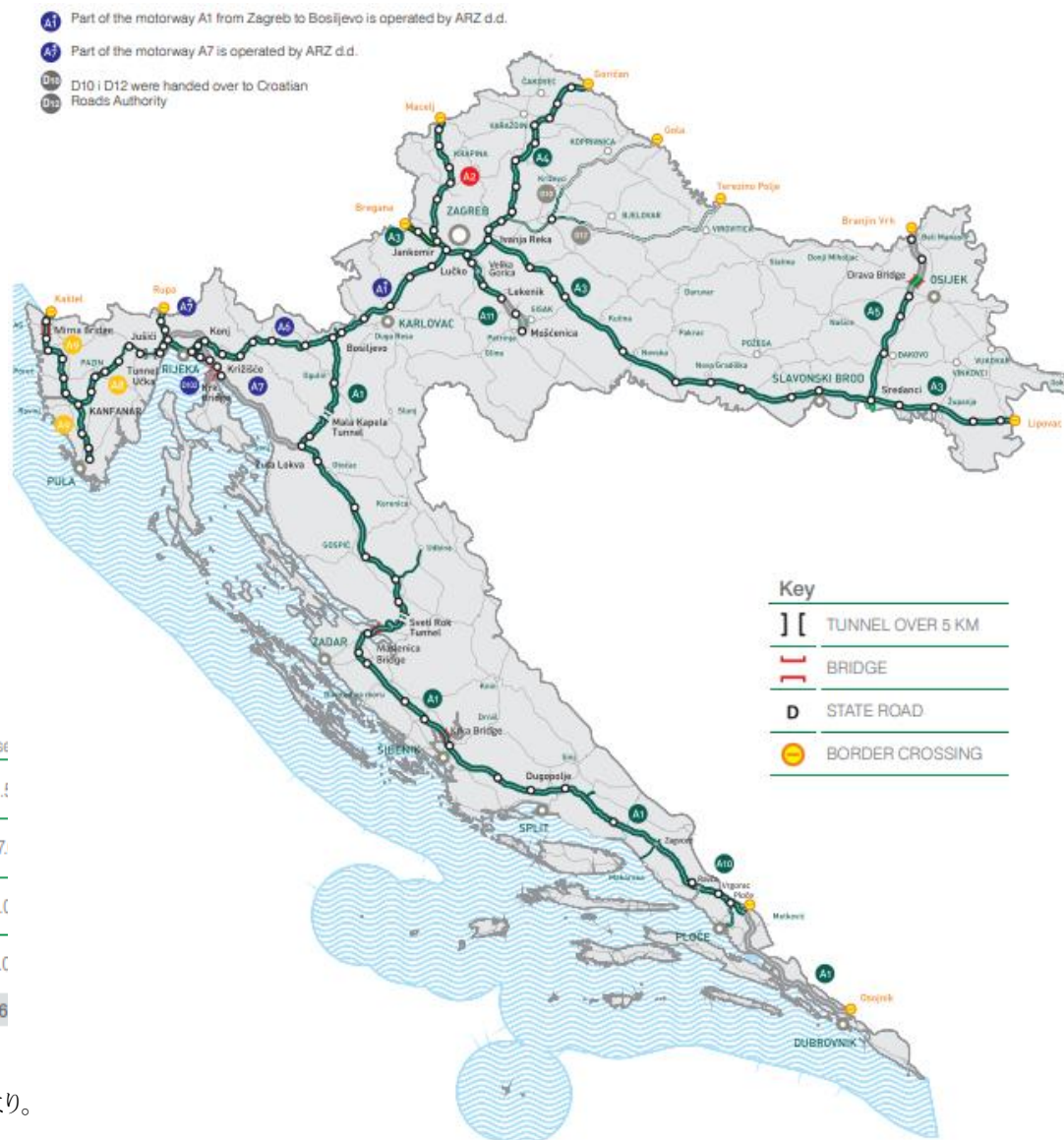
○2022年7月26日、クロアチアの大陸部分とペリエシャツ半島（首都ザグレブから南に約340キロメートルに位置）を結ぶ橋梁「ペリエシャツ橋」の開通式が行われた。接続道路を含む工事費用総額5億2500万ユーロのうち、3億5700万ユーロがEU基金によるもの。これにより、ボスニア・ヘルツェゴビナ領を通過することなく、クロアチア国土の南端まで陸路で往来できるようになった。

### Motorways in the Republic of Croatia

#### Network and companies

Company	Motorways	Status of construction	Km in use
 HRVATSKE AUTOCESTE d.o.o.	A1, A3, A5, A5a, A11	IN SERVICE	918.1
 AUTOCESTA RIJEKA-ZAGREB d.d.	A1, A5, A1, D12	IN CONSTRUCTION	187.0
 BINA-ISTRA d.d.	A5, A9	IN PROJECT	141.0
 AUTOCESTA ZAGREB-MACELJ d.o.o.	A2		60.0
TOTAL in service as per 31/12/2020			1,306

(備考) THE CROATIAN ASSOCIATION OF TOLL MOTORWAYS CONCESSIONAIRES 「NATIONAL REPORT ON MOTORWAYS 2020」より。  
<http://www.huka.hr/en/>



# 5 クロアチアの投資環境 ～インフラ②～

## 鉄道・港湾・空港

### 【鉄道】

○クロアチアの鉄道路線は、欧州の鉄道貨物回廊ネットワーク（RFCs）の地中海回廊及びアルプス西バルカン回廊に接続している。

○全国的に鉄道網が整備されているが、その多くは単線であり老朽化。EU基金を活用した鉄道システムの近代化、複線化事業を実施中。

### 【港湾】

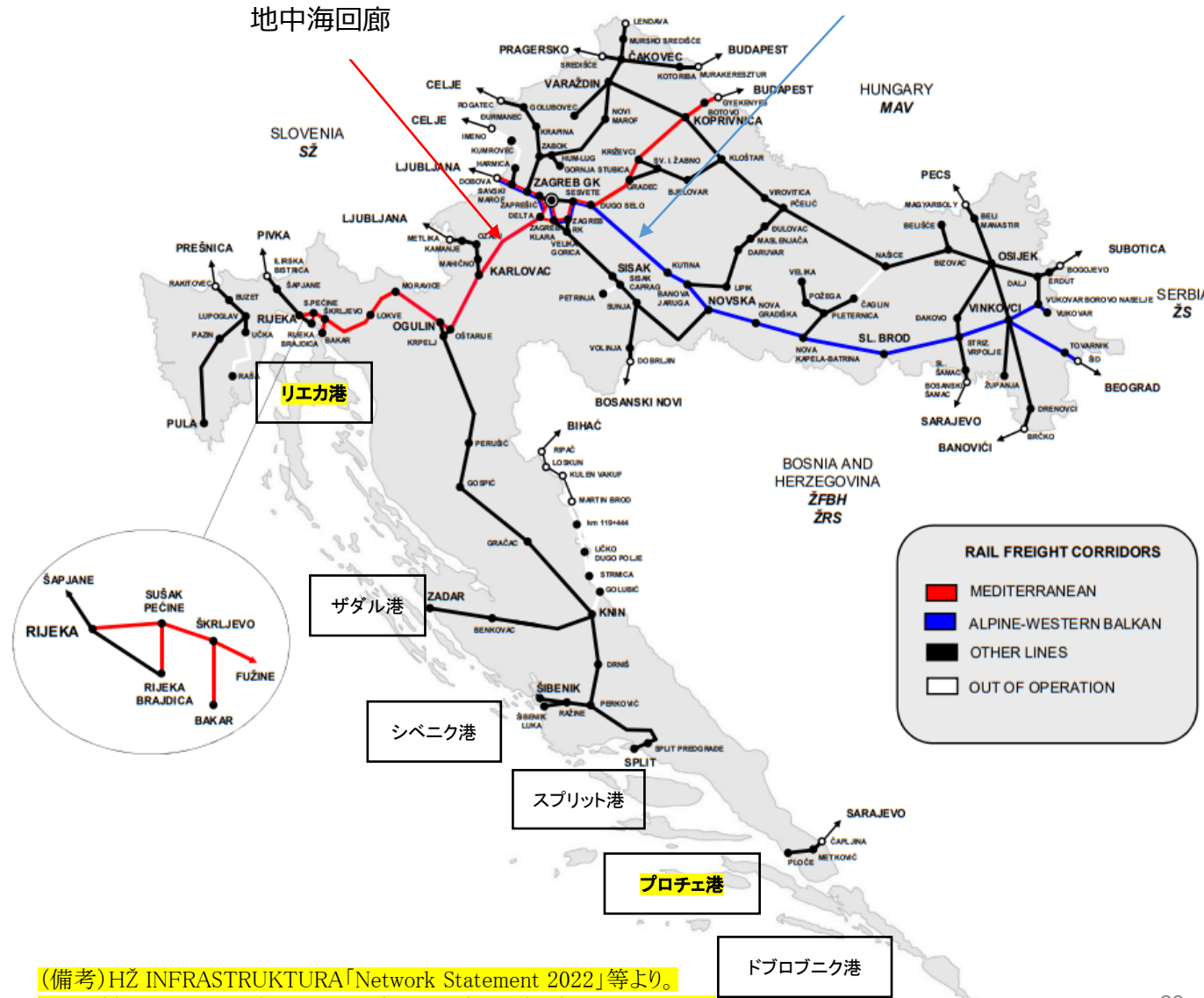
○クロアチアの主要な港のうち、リエカ港、プロチェ港、シベニク港は主に貨物を扱い、ザダル港、スプリット港、ドブロブニク港は主に旅客を扱う。

○リエカ港は、欧州横断運輸ネットワーク（TEN-T）の地中海回廊、バルト海＝アドリア海回廊、西バルカン＝東地中海回廊に接続しており、2025年に新たなコンテナターミナルが開業するなど、EU基金を活用した開発が進められている。

### 【空港】

○ザグレブ空港、プーラ空港、リエカ空港、ザダル空港、スプリット空港、ドブロブニク空港、オシエク空港、ブラチ空港、ロシニ空港

アルプス西バルカン回廊



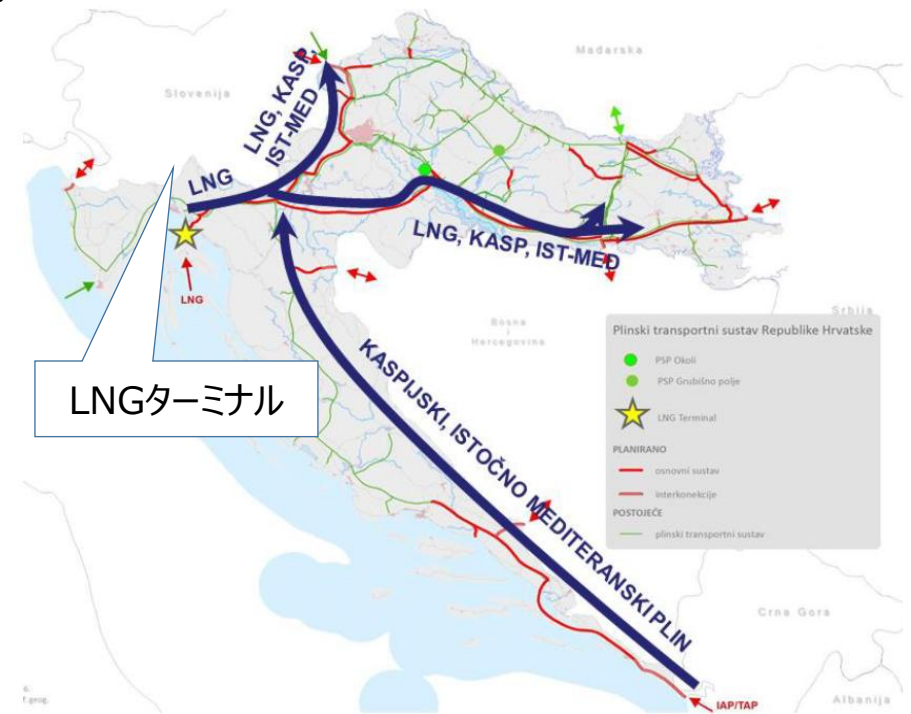
# 5 クロアチアの投資環境 ～インフラ③～

## エネルギー

- ・電力の国内生産(2023年)のうち47.0%が水力、29.8%が火力。また、スロベニアにあるクルシュコ原子力発電所(同国と共同運営)の発電量のうち50%相当を同国から輸入している。
- ・クルク島にあるLNGターミナルは、2021年1月に運転開始。本ターミナルは、中・南東欧の天然ガス供給の安全性と多様化にとって重要とされ、国家戦略プロジェクトに位置付けられている。
- ・2025年10月に、LNGターミナルの再ガス化能力を年間約39億立方メートルから約61億立方メートルへと拡張するプロジェクトが完了した。また、ハンガリー及びスロベニア方面へのガスパイプライン整備を進めるとともに、ボスニア・ヘルツェゴビナと接続する「サザン・ガス相互接続(Southern Gas Interconnection)」計画についても進展が見られ、同国への供給多角化及び地域のエネルギー安全保障強化に資するインフラ整備が進められている。

エネルギー・バランス(電力)	単位: GWh	(参考) 国内生産に占める割合 (%)
国内生産	17563.9	100.0
水力発電	8248.1	47.0
風力発電	2586.5	14.7
太陽光発電	413.1	2.4
地熱発電	20.6	0.1
バイオマス発電	705.8	4.0
バイオガス発電	340.7	1.9
火力発電(石炭)	1325.2	7.5
火力発電(天然ガス)	3864.3	22.0
火力発電(石油)	59.6	0.3
輸入	10037.9	
輸出	8460.2	
総供給量	18455.4	
送配損失等	1812.6	
最終消費量	16642.8	

(備考) 経済・持続可能な開発省「ENERGY IN CROATIA 2023」より作成。  
[https://eihp.hr/wp-content/uploads/2024/12/Energija-u-HR-2023\\_WEB\\_novo.pdf](https://eihp.hr/wp-content/uploads/2024/12/Energija-u-HR-2023_WEB_novo.pdf)



4-24. Future development of the transmission system and projects in the function of diversification of supply and increase of efficiency of the transmission system

(備考) 経済・持続可能な開発省「Integrated National Energy and Climate Plan for the Republic of Croatia for the period 2021-2030」より。

## 5 クロアチアの投資環境 ～税率、人件費～

### 税率

法人税 : 10%又は18%

所得税 : 年収60000ユーロ以下は15%～23%、年収60000ユーロ以上は25%～33%の間で設定された上限と下限に基づき、各地方自治体が決定する。

付加価値税 : 25% (宿泊サービスや子供関連用品等の一部は13%、食料品等の一部は5%)

社会保障費 : 36.5% (雇用者負担16.5%、被用者負担20%)

(参考) 日クロアチア租税協定 (2019年9月効力発生)

投資所得 (配当、利子及び使用料) については、源泉地国 (所得が生ずる国) における課税の上限 (限度税率) が設けられ又は課税が免除される。

配当 : 免税 (議決権保有割合25%以上・保有期間365日以上)  
5% (その他)

利子 : 免税 (政府受取等)  
5% (その他)

使用料 : 5%

固定資産税 : 1㎡当たり0.6ユーロ～8ユーロの範囲で各地方自治体が決定する。

(参考) クロアチア財務省租税局ウェブサイト<https://www.porezna-uprava.hr/en/Pages/default.aspx>  
外務省ウェブサイト[https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4\\_006594.html](https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4_006594.html)

### 人件費

2025年第三四半期平均 給与 (月額)	クロアチア全体	ザグレブ市
グロス	2013ユーロ	2032ユーロ
ネット	1446ユーロ	1471ユーロ

(備考) クロアチア統計局

### その他

クロアチア経済会議所 (<https://investincroatia.hr/>) や経済・持続可能な開発省 (<https://investcroatia.gov.hr/en/>) のウェブサイトには、法人設立方法や投資案件など様々な情報が掲載されている。

# 5 クロアチアの投資環境 ～ 競争力ランキング ～

① 2025年IMD国際競争力ランキングにおいて、クロアチアは69か国中53位（日本は35位）。

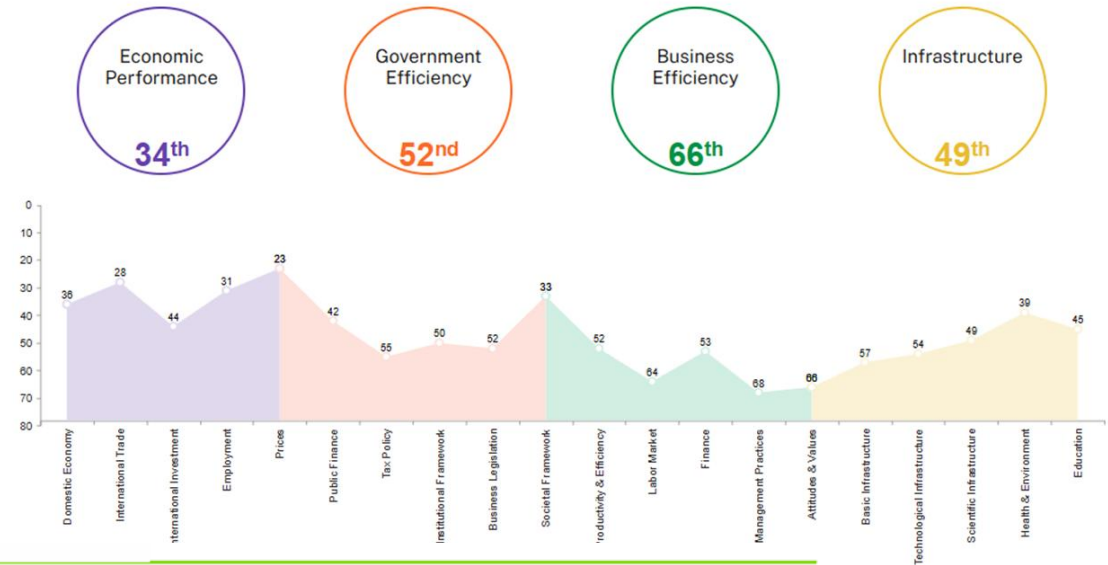
② 4つの大項目別にみると、経済状況が34位、政府の効率性が52位、ビジネスの効率性が66位、インフラが49位となっている。

（備考）「IMD世界競争力ランキング」ウェブサイトより。

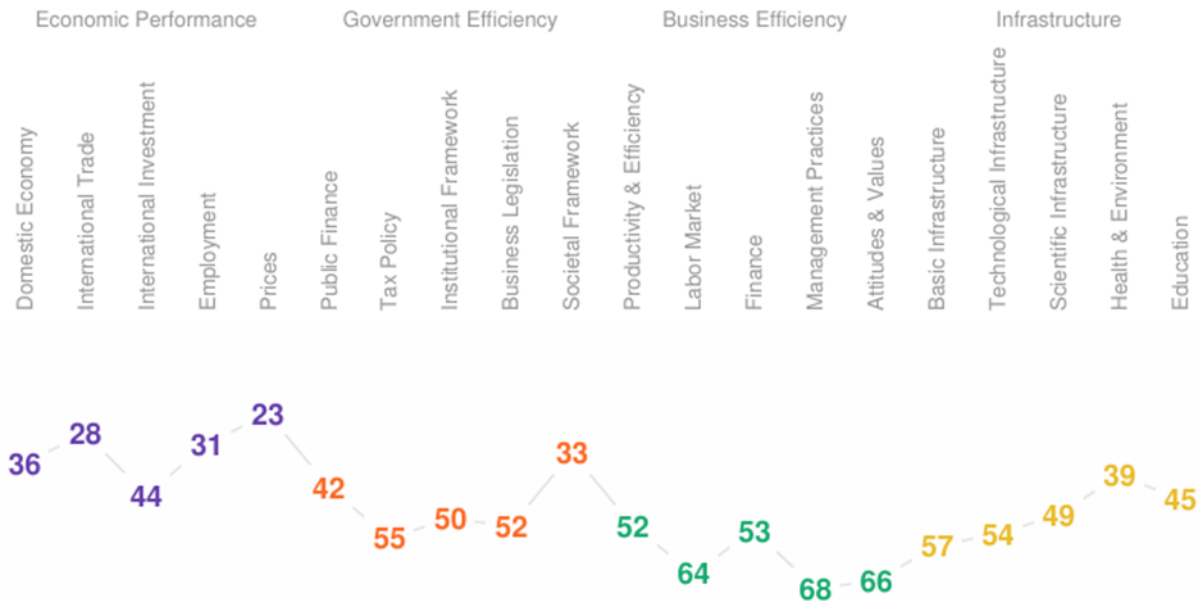
<https://worldcompetitiveness.imd.org/countryprofile/HR/wcy>

## COMPETITIVENESS LANDSCAPE for 2025

Country profile comparison



## COMPETITIVENESS LANDSCAPE



## 5 クロアチアの投資環境 ～ 政府の信用格付け ～

2022年7月、EU経済財政閣僚理事会は、2023年1月からのクロアチアのユーロ導入を決定。これを受け、3つの国際的な格付機関が、クロアチア政府の信用格付を投資適格に位置付け、2024年にはAランクに上げた。

クロアチア政府の信用格付け (Credit rating of the Republic of Croatia)

Fitch Ratings			Moody's			S&P Global Ratings		
Date	Rating	Outlook	Date	Rating	Outlook	Date	Rating	Outlook
2024.9.20	A-	Stable	2024.11.8	A3	Stable	2026.3.13	A	Stable
2023.10.9	BBB+	Positive	2023.11.13	Baa2	Positive	2024.9.13	A-	Positive
2022.7.14	BBB+	Stable	2022.7.13	Baa2	Stable	2023.9.18	BBB+	Positive
2021.11.15	BBB	positive	2020.11.13	Ba1	Stable	2022.7.15	BBB+	Stable
2019.4.2	BBB-	Stable	2019.4.29	Ba2	Positive	2019.3.25	BBB-	Stable
2019.6.10	BBB-	Positive	2017.3.13	Ba2	Stable	2018.9.24	BB+	Positive
2018.7.9	BB+	Positive	2016.3.14	Ba2	Negative	2018.3.26	BB+	Stable
2018.1.15	BB+	Stable	2014.3.24	Ba1	Negative	2017.9.25	BB	Positive
2017.1.30	BB	Stable	2013.2.1	Ba1	Stable	2016.12.19	BB	Stable
2015.8.3	BB	Negative	2012.5.31	Baa3	Negative	2015.7.20	BB	Negative
2014.8.11	BB	Stable	2008.11.19	Baa3	Stable	2014.1.24	BB	Stable
2014.2.14	BB+	Negative	2007.7.18	Baa3	Positive	2013.8.2	BB+	Negative
2013.9.20	BB+	Stable	2002.1.14	Baa3	Stable	2012.12.14	BB+	Stable

(備考) クロアチア国立銀行。Long Term Issuer Rating for Foreign Currency.

<https://www.hnb.hr/en/-/credit-rating-of-the-republic-of-croatia>

# 5 クロアチアの投資環境 ～主な日系企業～

- ・自動車部品開発、医療用ガラス容器製造や、船員配乗を行う企業等が活動。
- ・日系企業の多くは自動車・電機製品・医薬品等の販売店、旅行代理店、飲食店等。

**矢崎ヨーロッパ・ザグレブ** (自動車部品、ザグレブ)

自動車部品(配電システム用部品)の設計・開発センターとして、1999年にザグレブに進出。クロアチアの大学出身の優秀なエンジニアを採用。

**ニプロ・ファーマパッケージング・クロアチア**  
(製造、ザグレブ)

医療用ガラス容器の製造・販売を行う。2021年にニプロ社が前身のPiramida社(1950年創業)を子会社化。

**アステラス製薬** (販売 ザグレブ)

**EXITUS** (コンサル・通訳 ザグレブ)

**オリンパス** (販売 ザグレブ)

**キャノン** (販売 ザグレブ)

**コニカ・ミノルタ** (販売 ザグレブ)

**J T インターナショナル** (販売 ザグレブ)

**島津製作所** (販売 ザグレブ)

**Sulimanovic** (翻訳・通訳・IT、ザブレニチ)

**ダイキン** (販売 ザグレブ)

**武田薬品工業** (販売 ザグレブ)

**Tumlare Corporation** (旅行 ザグレブ)

**トヨタ** (販売 ザグレブ)

**日立エナジー** (エネルギー、ザグレブ)

**Pink Pig Fast Food** (飲食 ザグレブ)

**Vemi Connect** (旅行 ザグレブ)

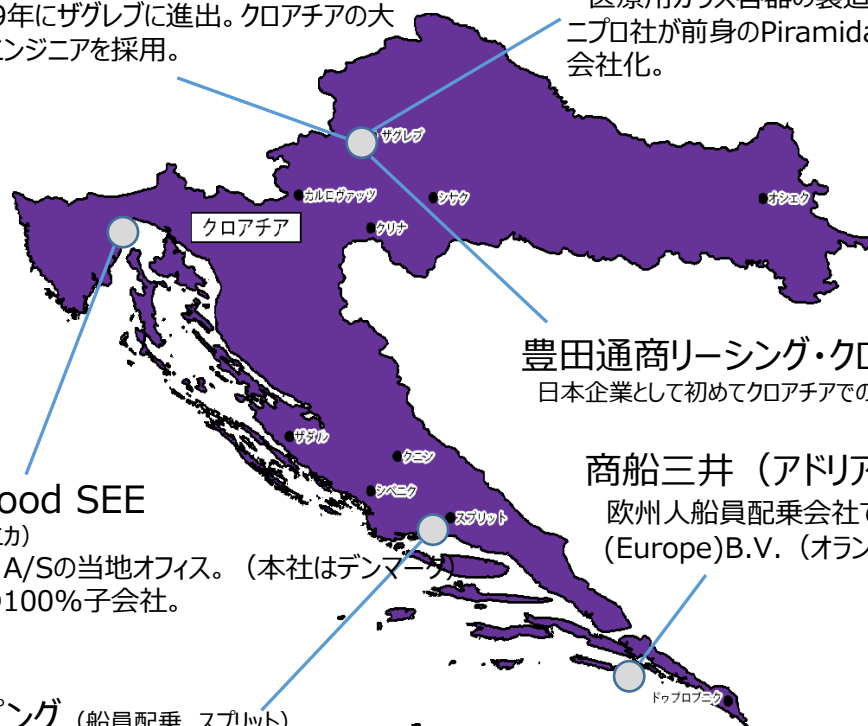
**マキタ** (販売 ザグレブ)

**マジャール・スズキ** (販売 ザグレブ)

**マツダモーター** (販売 ザグレブ)

**TDK** (製造 クチナ)

**ヤマグチ** (飲食、ドブロブニク)



**豊田通商リーシング・クロアチア** (リース、ザグレブ)  
日本企業として初めてクロアチアでの自動車販売金融事業に参入。

**商船三井 (アドリア)** (船員配乗、ドブロブニク)  
欧州人船員配乗会社であるMOL Maritime (Europe) B.V. (オランダ) が全額出資して設立。

**Nordic Seafood SEE**

(水産商事事業、リエカ)

Nordic Seafood A/Sの当地オフィス。(本社はデンマーク)  
株式会社ニスイの100%子会社。

**イバ・ SHIPPING** (船員配乗、スプリット)

NYK(日本郵船)シップマネジメント社の当地代理店。社長は  
在スプリット日本国名誉総領事。

※上記以外にも日本企業の代理店等が活動している。なお、本資料は、掲載された企業との取引等の推奨等を目的としたものではありませんので、本資料を利用して被ったいかなる損害についても当館は何ら責任を負うものではありません。

# 5 クロアチアの投資環境 ～関係機関連絡先～

クロアチア経済会議所 (Croatian Chamber of Economy)

U R L : <https://investincroatia.hr/>

電話 : +385-1-4828-382

メール : [eoi@hgk.hr](mailto:eoi@hgk.hr)

住所 : Rooseveltov trg 2, 10000 Zagreb, Croatia

クロアチア経済省 (Ministry of Economy)

U R L : <https://investcroatia.gov.hr/en/>

電話 : +385-1-6106-444

メール : [invest@mingor.hr](mailto:invest@mingor.hr)

住所 : Ulica grada Vukovara 78, 10000 Zagreb, Croatia

駐日クロアチア共和国大使館 (Embassy of the Republic of Croatia in Japan)

U R L : <http://jp.mvep.hr/en/>

電話 : 03-5469-3014

メール : [tokyo@mvep.hr](mailto:tokyo@mvep.hr)

住所 : 150-0012 東京都渋谷区広尾3-3-10

ジエトロ・ウィーン事務所

U R L : <https://www.jetro.go.jp/austria.html>

電話 : +43-1-587-56-28

メール : [wien\\_info@jetro.go.jp](mailto:wien_info@jetro.go.jp)

住所 : Parkring 12A/8/1, A-1010 Wien, Austria

在クロアチア日本国大使館

U R L : [https://www.hr.emb-japan.go.jp/itprtop\\_ja/index.html](https://www.hr.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html)

電話 : +385-1-4870-650

メール : [economy@zr.mofa.go.jp](mailto:economy@zr.mofa.go.jp)

住所 : Boškovićeva 2, 10000 Zagreb, Croatia



Zagreb\_foto\_Romeo\_Ibrišević /Ministarstvo turizma i sporta/  
【ザグレブ市内】



Rijeka\_foto\_Nikola Šolić /Ministarstvo turizma i sporta/  
【リエカ港】



Zagreb\_foto\_Romeo\_Ibrišević /Ministarstvo turizma i sporta/  
【アートパビリオン (ザグレブ市)】

※本資料は、2026年4月以前の各種機関の資料や報道等により当館が作成したものです。必ずしも情報について正確性を保証するものではありません。利用者が本資料を用いて行う一切の行為について、当館は何らの責任を負うものではありません。